

もののとけ方

～実験に必要な手順を考えよう～

この授業では、実験に必要な手順を選び出す活動を通して、自分の予想を確かめるための方法を考える力を育みます。実験の手順を、ビジュアル型プログラミング言語を用いてまとめることで、実験の過程を可視化し、よりよい方法を考えることができるよう授業を構成しています。

導入

◆ 本時の課題をつかむ

- ・フローチャートを使って、前時までの学習を振り返り、食塩を水に溶かすときの条件を確認する。
- ・より多くの食塩を水に溶かすための方法について考えることを確認する。

展開1

◆ 個人で予想を立てる

- ・より多くの食塩を水に溶かすためには、どのような方法があるかを考え、全体で交流する。

展開2

◆ 実験方法ごとにグループをつくる

- ・「水の温度を変える」や「水の量を増やす」などの実験方法ごとにグループを作る。

◆ 実験の手順を考える

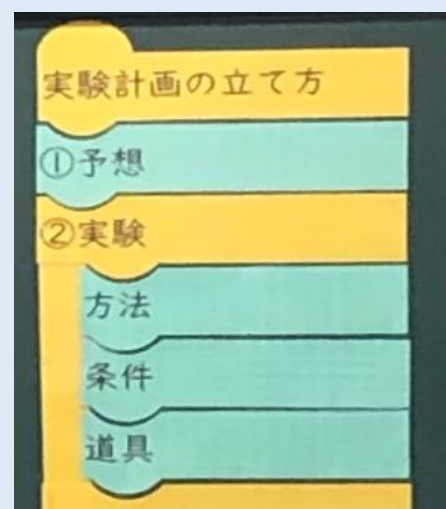
- ・実験に必要な情報を選び、実験の手順や結果の見通しをグループで考え、ビジュアル型プログラミング言語を活用してタブレット端末上でまとめる。
- ・グループごとに考えた実験方法について交流し、再検討する。

まとめ

◆ 本時の学習で学んだことを振り返る

- ・より多くの食塩を水に溶かすための条件や、順序を考えて実験計画を立てることが大切であることに気付く。

授業の様子・留意点



- ・ビジュアル型プログラミング言語を活用し実験の手順をまとめた。
- ◎児童が自分の考えを順序良く整理するとともに、見直して改善することができた。



- ・グループごとに考えた実験の手順を、電子黒板で共有した。
- ◎タブレット端末と電子黒板を活用することで、考えの共有にかかる時間を短縮することができた。